



Me410A-3 2./FAG122 Aufklärer

1:72 FP-13

メッサーシュミット Me410A-3
アウフクレーター(偵察機型)

JOY KITS LABO
FineMolds

■ Me410A-3 (解説 国江隆夫)

一般的には Me410 の偵察型は A-2 が最初のものでされ、機首の爆弾倉に偵察カメラを 2 台収納していたといわれている。この爆弾倉扉をより大型に改修したものが A-3 であるといわれているが、このタイプの透明部付の扉は Me210Ca にも取り付けられているのが確認できる。

偵察用のカメラにはドイツ空軍で一般的に使用された Rb25/30、Rb50/30、Rb75/30 のどれかを 2 台から 3 台搭載可能だったことが公式計画図からわかる。(なお、Rb25/30 の「25」は焦点距離が 25cm であること、「30」はフィルムサイズが 30×30cm であることを表す) これらを搭載した場合にはカメラの台数に応じて、シャッターのインターバルスピード調整とフィルム枚数が確認できる「Bireg」と呼ばれるコントローラーがコックピットに取り付けられるのが普通である。

また、カメラ搭載位置は、機首の爆弾倉内部か後部コックピットであったと思われるが、公式計画図では胴体後部にも搭載可能であったことがわかっており、さらに同図によると、ドラム状の FDSL-131 や後部コックピットの無線機の後ろなどの胴体内部にいくつかのいくつかの防弾板が取り付けられる予定であったことが確認できる。

ドイツ空軍の第 2 航空艦隊司令部直属の戦略偵察部隊であった第 122 長距離偵察部隊(FAG122)は、偵察機として Ju88、Me210 などを使用していたが、同部隊に新型の Me410 が配備されたのは 1943 年の春といわれている。当時、双発の偵察機としては最も速い Me410 であったが、当然ながら連合軍の戦闘機には痛い目に会っていた。1944 年 6 月のノルマンディー上陸作戦以降は圧倒的な敵機の壁にドイツの偵察機はなすすべなく、それ以降 Me410 は、戦略偵察機の座を世界最初のジェット偵察機 Ar234B に譲り渡すのである。

■ 諸元

全長……………12.48m (12,56m)
全幅……………16.355m (16,362m)
全高……………4,278m [地上姿勢でアンテナ含む]
水平尾翼幅…5.80m

[マニュアルによる数値、() 内は公式図面による数値]

エンジン………ダイムラーベンツ DB603A × 2 基
液冷倒立 12 気筒加圧冷却方式

出力……………1750hp (離昇)
排気量……………44.5 リットル
全開高度………5700m

速度……………615km/h (高度 5700m における推定)

武装……………機首 A-3 の機首武装は未確認、
後部 FDSL-B131 リモコン銃座

偵察カメラ…Rb25/30、Rb50/30、Rb75/30、のどれかを 2 台
(推定)

無線装備………FuG10、FuG16、FuG25a、(敵味方識別装置)
FuBi 系 (盲目着陸装置)
PeilGV (方向探知装置)

Me410A-3

(Text: Takao Kunie)

The A-2 is generally believed to have been the first reconnaissance version of the Me410, with two cameras being mounted in the nose bomb bay. The A-3 was a modification of this design with a larger bomb bay, and the bomb bay doors with transparent windows which were used on the type have also been confirmed to have been mounted on Me210Ca aircraft as well. The cameras used on the plane were those in general Luftwaffe service: The Rb25/30, Rb50/30, Rb75/30 (the first number indicated the camera's focal length in cm, the second the film type, e.g.30 stood for 30 × 30cm).

Two or sometimes three cameras could be mounted, and "Bireg" controllers which allowed adjustment of the shutter interval speed and displayed the number of shots remaining were mounted in the cockpit.

The cameras were known to have been primarily mounted in the bomb bay, or immediately to rear of the cockpit, but official blueprints for the aircraft show proposed mounting positions in the rear of the fuselage, as well as the installation of armor plate around the FDSL-131 drum and to the rear of the cockpit.

Long-range reconnaissance squadron 122 (FAG122) used the Ju88 and Me210 as their mounts until the new Me410 was delivered to them in the spring of 1943. Though the Me410 was the fastest twin-engine recon. plane the Luftwaffe operated at the time, it too frequently fell victim to Allied fighters. Following the D-Day landings in Normandy, the Me410 faced a wall of Allied air superiority that it simply could not scale, and the role of top spy plane was passed on to the world's first jet-powered bomber and reconnaissance bird, the Ar234B.

DATA

Dimensions

Length: 12.48m(12.56m)
Wingspan: 16.355m(16.362m)
Height: 4.278m [on the ground, including antenna mast]
Horizontal stabilizer span:
5.80m

[First dimensions are taken from the aircraft's manual; measurements in parentheses are from published technical illustrations.]

Engines

Daimler-Benz DB603A × 2 [inverted V12, liquid-cooled inline engines,]
Takeoff power: 1750hp
Displacement: 44.5 liters
Ceiling: 5,700m

Performance

Maximum speed: 615km/h (estimated at 5,700m)

Armament

Nose: Forward armament of Me410A-3 not confirmed.
Rear fuselage: FDSL-B131 remote-control gun unit (13mm MG131 × 2).

Camera

Either two or three Rb25/30, Rb50/30, or Rb75/30

Radio Equipment

FuG10, FuG16, FuG25a(IFF)
FuBi types (ILS), PeilGV (RDF)

解説・資料協力: 国江 隆夫氏

作る前にお読みください

- このキットには接着剤が入っていません。別にお買い求めください。接着剤はプラモデル用(一般的なピン入りタイプ)をお勧めします。胴体や主翼など広い部分や透明パーツの接着には「溶剤タイプ」(サラサラした流し込みタイプ)の接着剤が向いています。お買い求めのお店でおたずねください。
- 各部の塗装はグンゼ産業のMr. カラーの番号と色名で指示しています。

- 組み立ては説明書をよく読んで間違いの無いようにしましょう。
- 巻末の注意もお読みください。
- 塗装例により透明部品1に開ける穴の数が異なります。どちらのタイプを作るか予め決めてから組み立てに入ってください。
- Circle numbers refer to the decal numbers.
- Boxed numbers refer to Gunze Sangyo's "Mr.Color" paint color numbers.

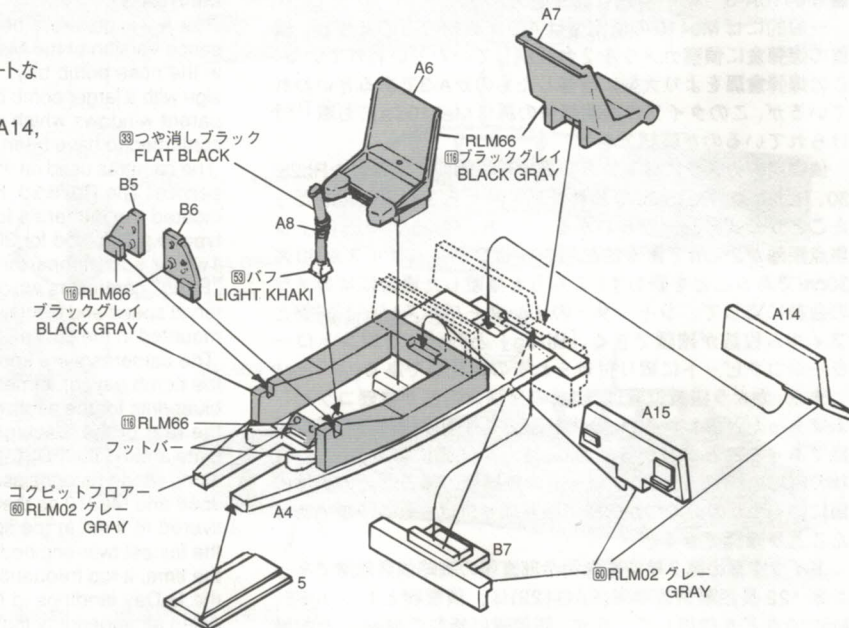
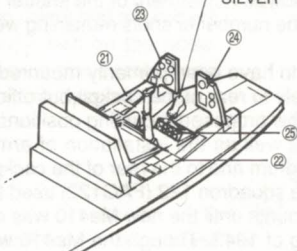
①コックピットの組み立て

最初にA14, A15, B7を取り付けてからシートなどを取り付けます。

Attach the seat after attaching parts A14, A15 and B7.

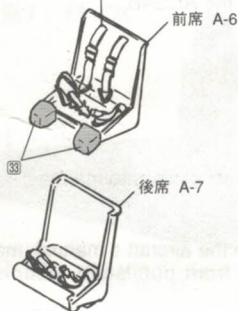
計器盤のデカールを貼ってください

フットバー
⑧RLM02 グレー GRAY
または
⑧シルバー SILVER

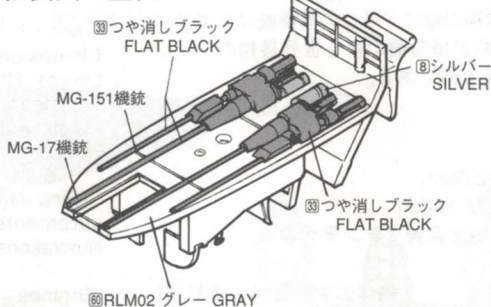


参考

1/72 AA-4 GERMAN AIRCRAFT SEAT BELTS SET



◎床板裏面の塗装

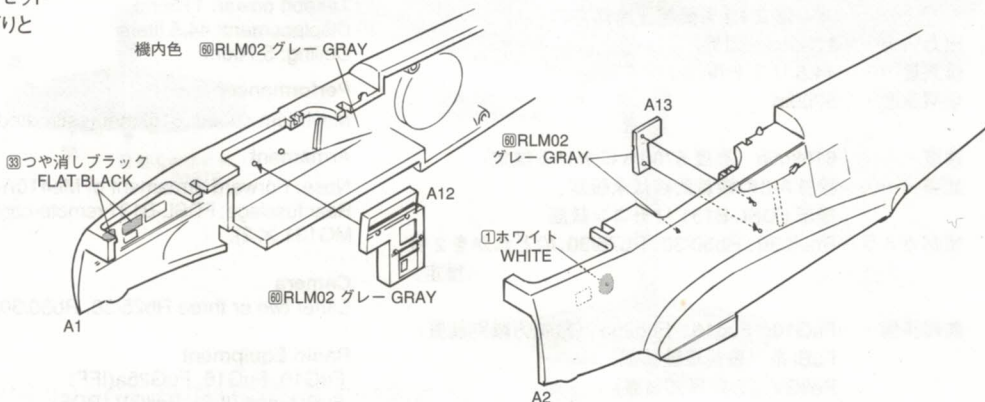


弊社より発売のファインディティールアクセサリシリーズAA-4ドイツ空軍機用シートベルトセット2を使えばより精密な仕上がりとなります。

NOTE

You can improve the appearance of your kit by using Fine Molds "German seatbelt set 2", item AA-4 in the Fine Molds accessories series.

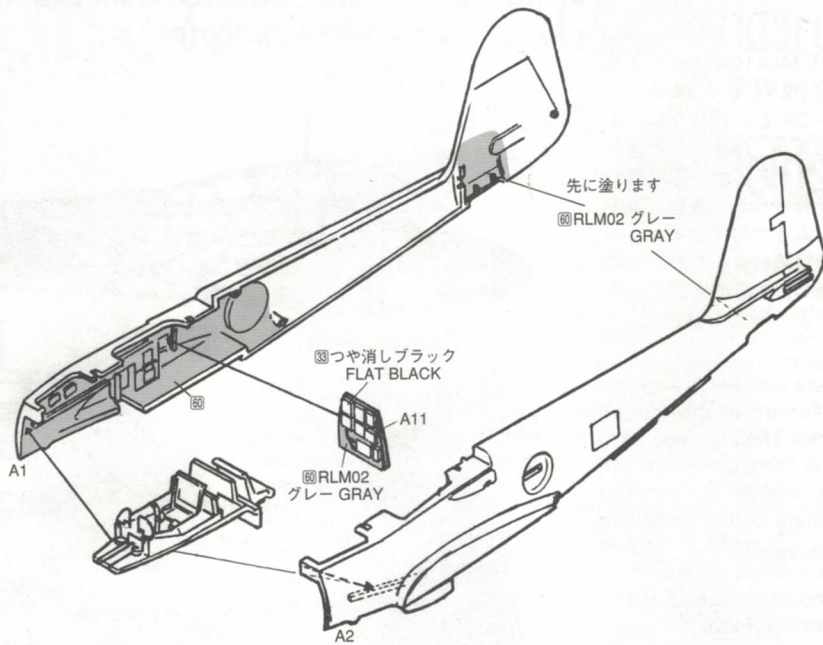
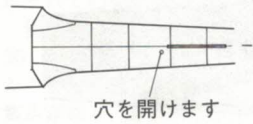
AA-4 Seat belts set not included



② 胴体の組み立て

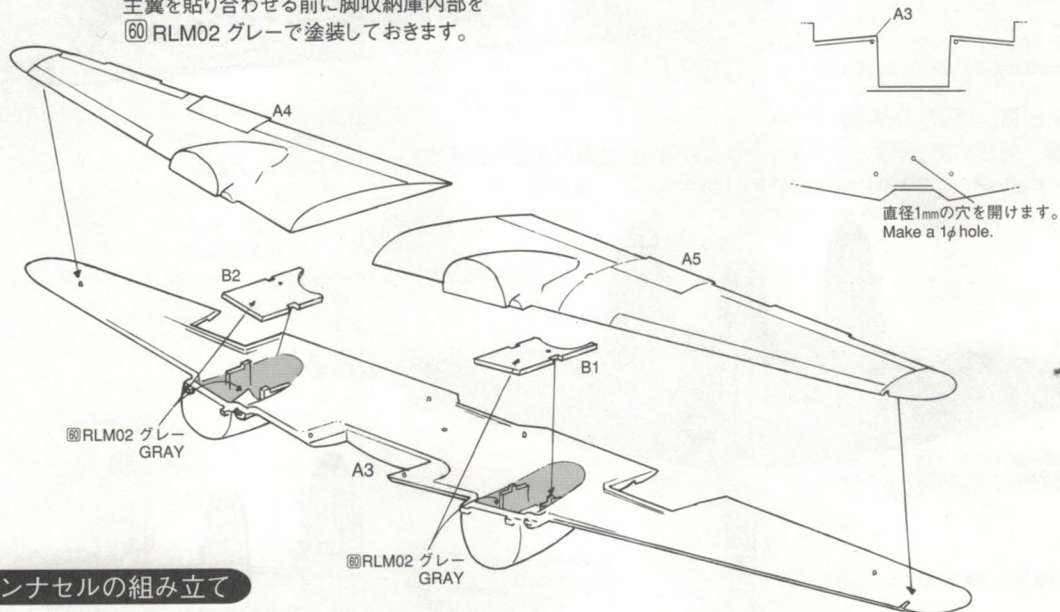
胴体を貼り合わせた後にトレーリングアンテナ取り付け用の穴を0.7~0.8ミリのドリルで開けます。アンテナはこの後⑨の工程で取り付けます。

Open a 0.7mm to 0.8mm hole for the trailing antenna after assembling the fuselage halves. The antenna is attached in step ⑨



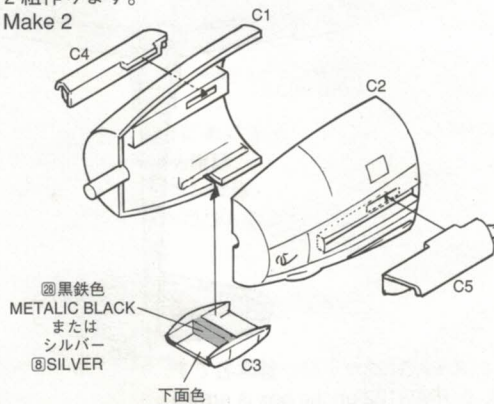
③ 主翼の組み立て

主翼を貼り合わせる前に脚収納庫内部を⑥ RLM02 グレーで塗装しておきます。



④ エンジンナセルの組み立て

2組作ります。
Make 2



◎排気管の塗装

C5 (C4) 機体色 Nacelle Color



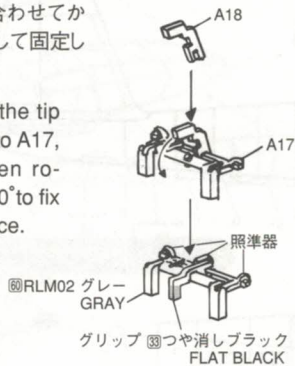
排気管は③つや消しブラックを塗った後に④1レッドブラウンでドライブラシすると雰囲気良く仕上がります。

After painting the pipes③ Flat Black, drybrush them with ④1 Red Brown for a realistic effect.

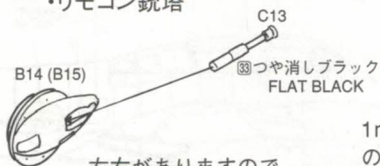
⑤ 照準器とリモコン銃塔の組み立て

まずA18の先端をA17に合わせてから90°回して固定します。

Attach the tip of A18 to A17, and then rotate it 90° to fix it in place.



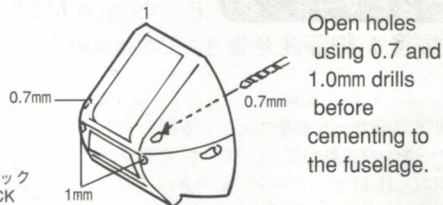
・リモコン銃塔



左右がありますので注意してください。

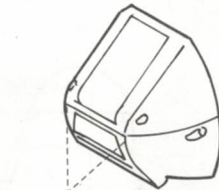
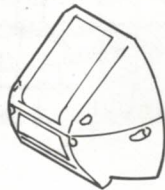
塗装例Ⅰ F6+QKの場合
Painting exampleⅠ F6+QK model

塗装例Ⅱ F6+WKの場合
Painting exampleⅡ F6+WK model



1mmの穴は塗装例Ⅰのみです。

胴体に接着する前に0.7ミリと1ミリのドリルで穴を開けます。透明パーツはヒビが入りやすいので慎重に作業しましょう。塗装例により開ける穴の数異なります。



⑥ 主翼・ナセルの取り付け

・主翼の取り付けについて

実機では、主翼のフィレットは主翼を覆う様に取り付けられているため、フィレットと主翼面には段差があります。キットでもこの段差を再現していますが、主翼を接着した後で胴体パーツと主翼パーツの接着面に溶きパテを筆で流しこみ、乾燥後にMr.カラーのシンナー(ラッカーシンナーはダメ)で拭き取るようにすれば、段差や周囲のモールドを削らずにこれを生かした仕上がりになります。

機体塗装の際に、機首・1の部分は [] の部分を機体色に塗ってください。下塗りに [] RLM02 グレーを塗ると良いでしょう。

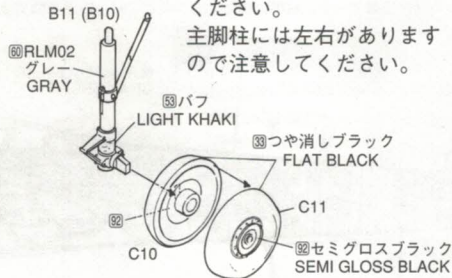
About the 1 part, paint [] part fuselage color, under painted [] RLM02 GRAY.

・ナセルの取り付けについて

キットで主翼とナセルを取り付けるラインは、実機では意外と大きな段差がついていますが、これは外板が入り込むように重なっているためです。Me410に限らずドイツ機のエンジンナセル周りのたてつけは意外と悪いものですから、実機写真を参考にそれらを再現してみれば、より雰囲気のある仕上がりとなるでしょう。

⑦ 主脚の組み立て

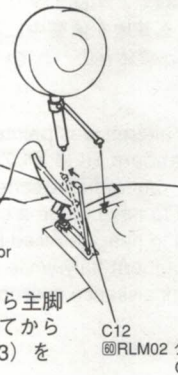
※タイヤ・主脚の取り付け角度は次頁の図を参照してください。主脚柱には左右がありますので注意してください。



Attach part C12 and then attach the gear to the wing. Once the angle is set, attach the gear bay covers (B12 & B13).

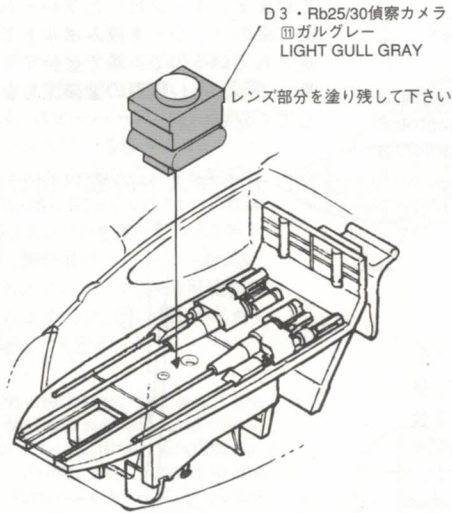
脚カバー裏 [] RLM02 グレー GRAY または 下面色 Under fuselage color

C12を取り付けてから主脚を付け、角度を決めてから脚カバー (B12、B13) を取り付けます。



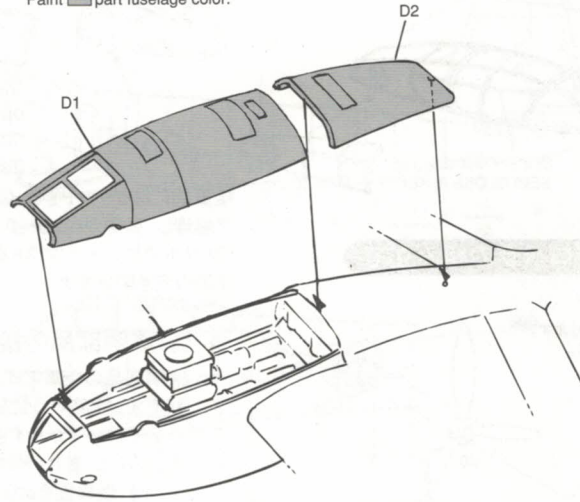
⑧カメラ、カメラ用フェアリングの取り付け

カメラの取り付け



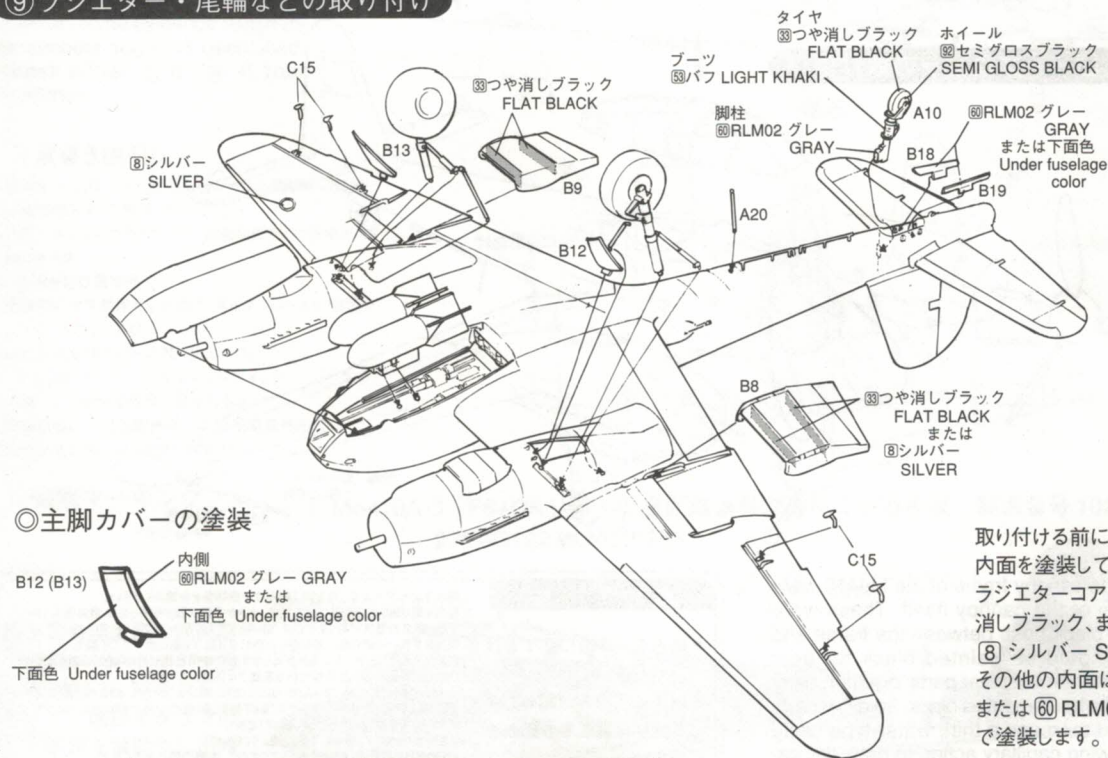
カメラ用フェアリングの取り付け

Paint ■ part fuselage color.



機体塗装の際にはD1、D2の■部分を機体色で塗って下さい。
下塗りに⑩RLMグレー02を塗ると良いでしょう。

⑨ラジエター・尾輪などの取り付け



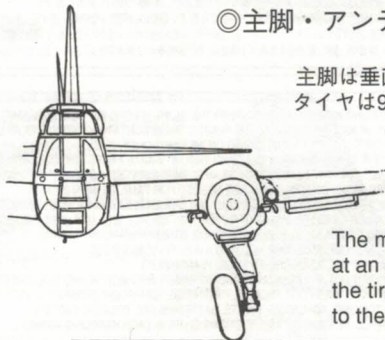
◎主脚カバーの塗装



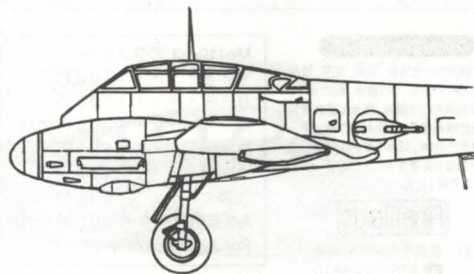
取り付ける前にラジエター
内面を塗装しておきます。
ラジエターコアは⑬つや
消しブラック、または
⑲ シルバー SILVER
その他の内面は下面色
または⑯ RLM02 グレー
で塗装します。

◎主脚・アンテナの取り付け角度

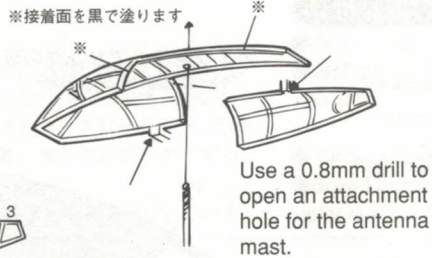
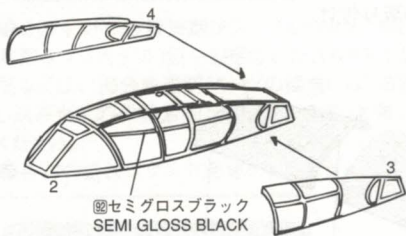
主脚は垂直に対して4.5°、
タイヤは9.5°傾いています。



The main gear are attached
at an angle of 4.5° ,while
the tires should be at 9.5°
to the vertical.



⑩ キャンピの組み立て



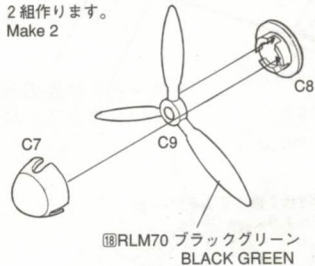
実機のキャンピーフレームの一部はキャンピーの内側から取り付けられています。キャンピーとフレームの間に黒のブッシュを挟みボルトで固定されているので、黒で塗装すると良いでしょう。別頁の塗装図も参照してください。

◎ アンテナマストの取り付け角度



アンテナマストは垂直に対して5°傾けて取り付けます。

⑪ プロペラの組み立て

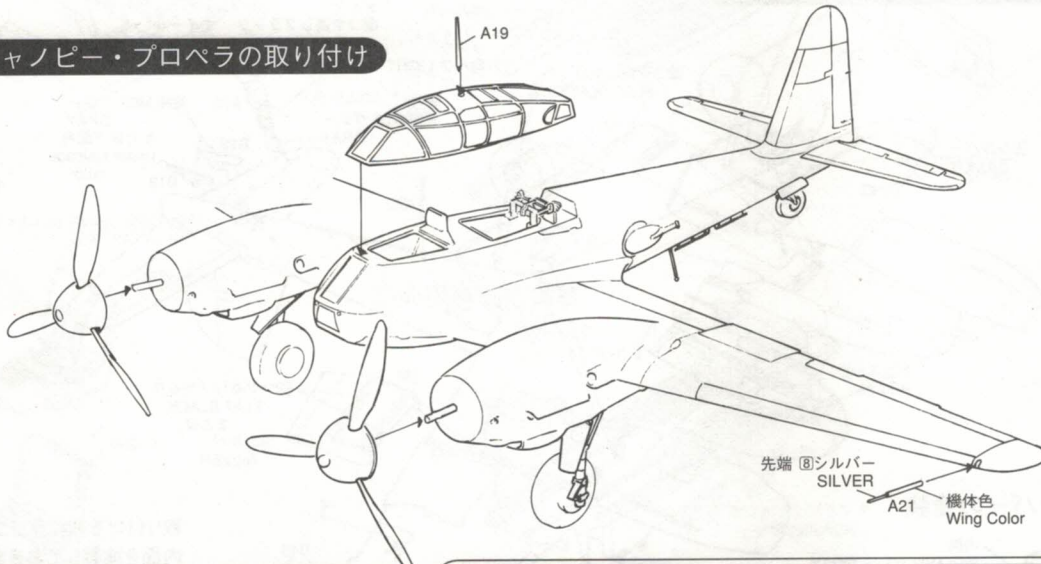


接着面にあるゲートをナイフ等で処理し、裏側から0.8~0.9ミリのドリルでアンテナマスト取り付け用の穴を開けます。

◎ 透明部品の接着について

透明部品の接着には溶剤タイプが便利です。接着する位置にパーツを合わせておいてからすき間に接着剤を流し込むと、きれいに仕上がります。この時、接着面をあらかじめ黒で塗っておくとパーツの断面が目立たず、より良く仕上がります。

⑫ キャンピー・プロペラの取り付け



Portions of the canopy frame of the Me410 were on the inside of the canopy itself. These were padded with black bush between the frame and glass and should be painted black for best appearance. To cement clear parts together, paint the surfaces to be cemented black, hold the parts together, and then use a thin, water-type weld cement, allowing capillary action to draw the cement between the surfaces. This technique produces the best results.

▲ 注意

* 組み立てる前に必ずお読みください。
* 12才以下の方が組み立てる時は保護者もお読みください。

1. 組み立てモデルです。作る前に組み立て説明書をお読みください。
2. 部品を取り出した後のビニール袋は、小さな子供が頭から被ったり、飲み込んだりすると窒息の恐れがありますので、破り捨ててください。
3. 部品はきれいに切り取り、切り取った後のクズはゴミ箱に捨ててください。
4. 部品はやむなぐとがっている所がありますので使用目的以外は、絶対に遊ばないでください。特に小さいお子様のいる家庭では注意してください。
5. 小さな部品がありますので、勝手に飲み込まないでください。特に小さいお子様のいる家庭では注意してください。
6. 部品組み立ての際、ニッパー、ナイフ、ヤスリ等を不用意に取り扱うと、刃先で怪我の恐れがあります。12才以下の方は保護者の指導のもとに取り扱ってください。
7. 接着剤、塗料を使用する場合は、下記に注意してください。
* 閉めきった室内では使用しないでください。中毒の恐れがあります。
* 火の近くでの使用は絶対にやめてください。引火の恐れがあります。
* 接着剤、塗料は目や口に入れないでください。誤って目や口に入れたときはすぐに大量の水で洗い流して、医師に相談してください。
8. 工具、接着剤、塗料、電池等を使用する場合は、その説明書の注意事項をよく読んで正しく使用してください。

▲ CAUTION

* MAKE SURE TO READ INSTRUCTIONS LISTED BELOW BEFORE ASSEMBLING.
* ADULT SUPERVISOR SHOULD ALSO READ INSTRUCTIONS WHEN ASSEMBLED BY CHILDREN AGED 12 OR YOUNGER

1. THIS BEING AN ASSEMBLY KIT. READ THE INSTRUCTIONS BEFORE ASSEMBLING.
2. TEAR UP AND THROW AWAY THE PLASTIC BAGS CONTAINING KIT PARTS AS CHILDREN MAY SUFFOCATE BY SWALLOWING OR WEARING OVER HEAD.
3. CUT THE PARTS OFF PROPERLY AND THROW WASTE PARTS INTO DUSTBOX AT ONCE.
4. DO NOT PLAY WITH THE PARTS FOR ANY OTHER PURPOSE AS SOME PARTS MAY BE TOO SHARP. MORE CAUTION AND CARE NEEDED FOR FAMILIES WITH INFANTS.
5. DO NOT SWALLOW ANY PARTS AND CUT-OFF CHIPS. KEEP AWAY FROM REACH OF CHILDREN.
6. WRONG OR CARELESS USAGE OF NIPPER, CUTTER, FILE, ETC. MAY HURT THE ASSEMBLER.
7. BE CAUTIONS AS FOLLOWS WHEN USING ADHESIVES AND/OR PAINTS:
* DO NOT USE IN CLOSED ROOM TO AVOID POISONING/TOXIC.
* DO NOT USE NEAR FIRE TO AVOID FLAMMABILITY.
* DO NOT PUT ANY ADHESIVES AND/OR PAINTS INTO MOUTH AND EYE IF MISTAKENLY PUT INTO. WASH OUT PROMPTLY WITH FULL WATER AND CONSULT A DOCTOR.
8. USE TOOLING, ADHESIVES, PAINTS, BATTERIES ETC. PROPERLY AFTER CAREFUL READING OF INSTRUCTIONS GIVEN IN EACH HANDLING MANUAL.

アフターサービスについて

部品を請求される方は、氏名、住所、電話番号を1字ずつはっきり書き、右のカードの必要部品を○で囲み、代金を現金書留または定額為替にて、当社アフターサービス係までお申し込みください。なお、価格は予告なく変更することがございますので、ご了承ください。



〒441-33 豊橋市老津町字の場53-2
☎(0532)23-6810

Me410A-3 アウフクレラー

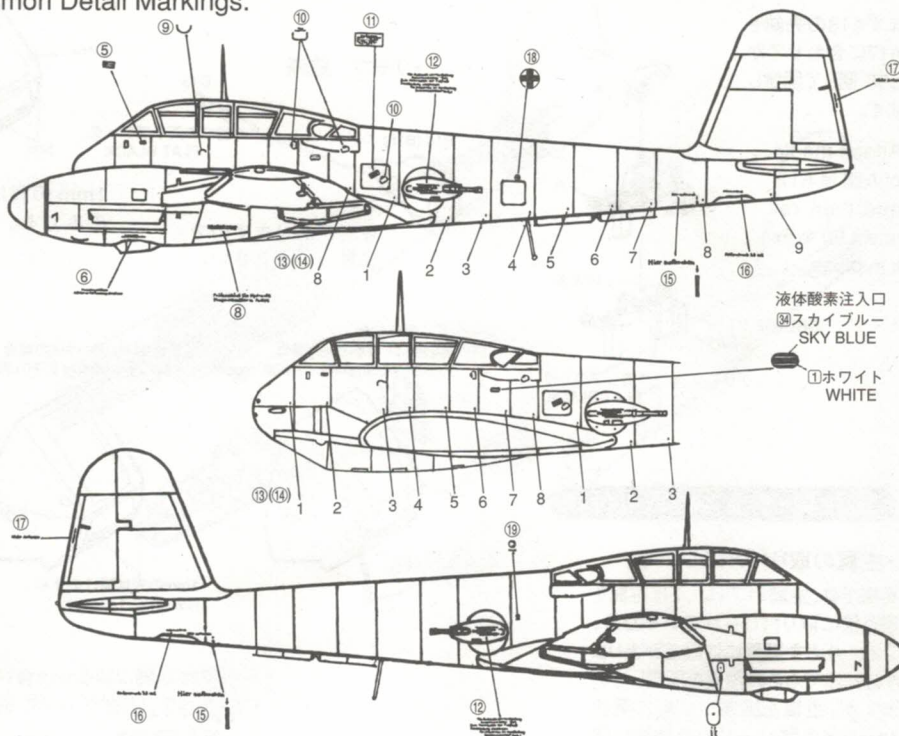
- A 1700円
- B 1000円
- C 1000円 (1枚)
- D 400円
- 透明部品 400円
- 国籍マーク 800円
- A-3 部隊マーク 600円
- For Japanese only FP-13

塗装とマーキング Painting & Marking

<共通：細部注意書き> Common Detail Markings.

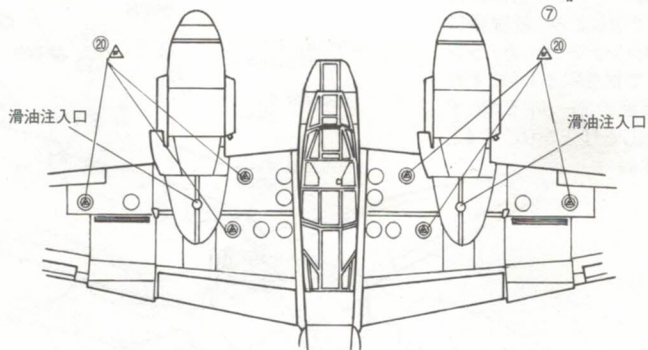
細部のデカールを基本として個別のマーキングを貼ってください。注意書きはしばしばオーバースプレーされて塗りつぶされている事があります。エンジンナセルの注意書きは左右同じ方向の位置に貼ってください。これは左右同じエンジンを使っているためです。また、胴体枠ナンバーは一般的に黒といわれていますが、赤の可能性も考えられますので、⑬と⑭のどちらかを選択してください。

Caution markings, etc. were the same on both aircraft. Unit markings, of course, differ. Engine nacelle markings are located in the same place right and left. They are not a mirror image of each other as identical engines were used on both sides. Fuselage numbers are generally said to have been black. However, some evidence suggests red numbers may have been used. Choose either ⑬ or ⑭ at your preference.



[注意書き説明]

- ⑤ 機体ネームプレート ⑥ エンジンカウル開閉時の注意
- ⑦ 冷寒時のスタート用ハッチ
- ⑧ 油圧システムとプライマー系(始動用燃料)の接続テスト用コネクター
- ⑨ ⑩ 手がけ位置表示
- ⑪ 離陸前に水平尾翼を0位置に、ダイブブレーキの油圧セレクトターをONにする
- ⑫ 後部胴体銃塔カバーの取り替えについて
- ⑬・⑭ 胴体枠ナンバー ⑮ ジャッキポイント
- ⑯ 尾輪タイヤ空気圧表示 ⑰ さわるな
- ⑱ 緊急装備品搭載位置表示 ⑲ 外部電源接続口
- ⑳ 燃料注入口およびオクタン備表示

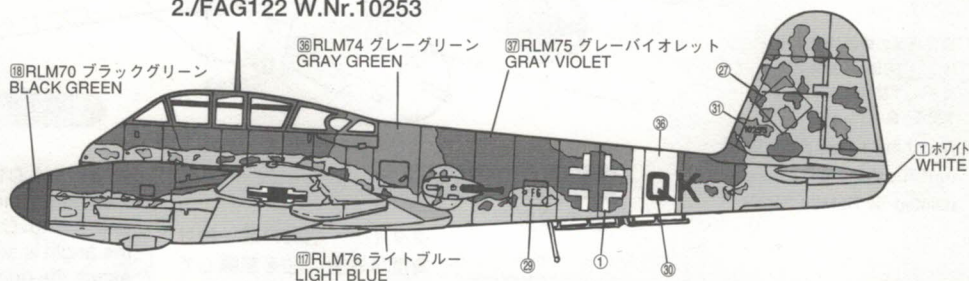


<個別マーキング>

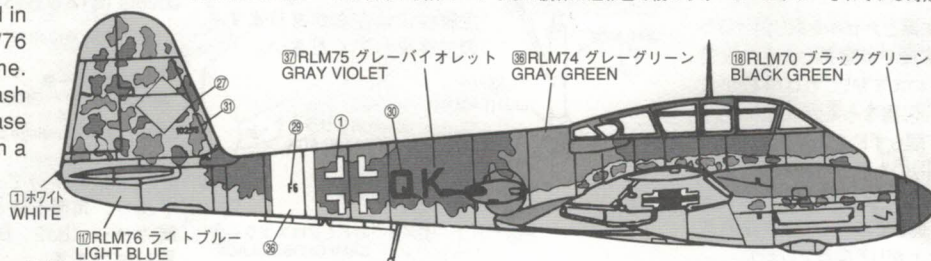
I Me410A-3 「F6+QK」 第122長距離偵察部隊第2小隊所属 製造番号10253
2./FAG122 W.Nr.10253

最高司令部直属の同部隊のこのMe410A-3は、一般的なRLM74/75/76のグレイ系迷彩で、南部イタリアの連合軍基地を偵察中に不時着した機体といわれている。

This aircraft was painted in a standard RLM 74/75/76 gray camouflage scheme. Said to have made a crash landing near an Allied base in southern Italy while on a reconnaissance mission.



胴体側面の国籍マーク、白帯、機体マークなどは胴体の迷彩色で後からオーバースプレーされている時期もあります。

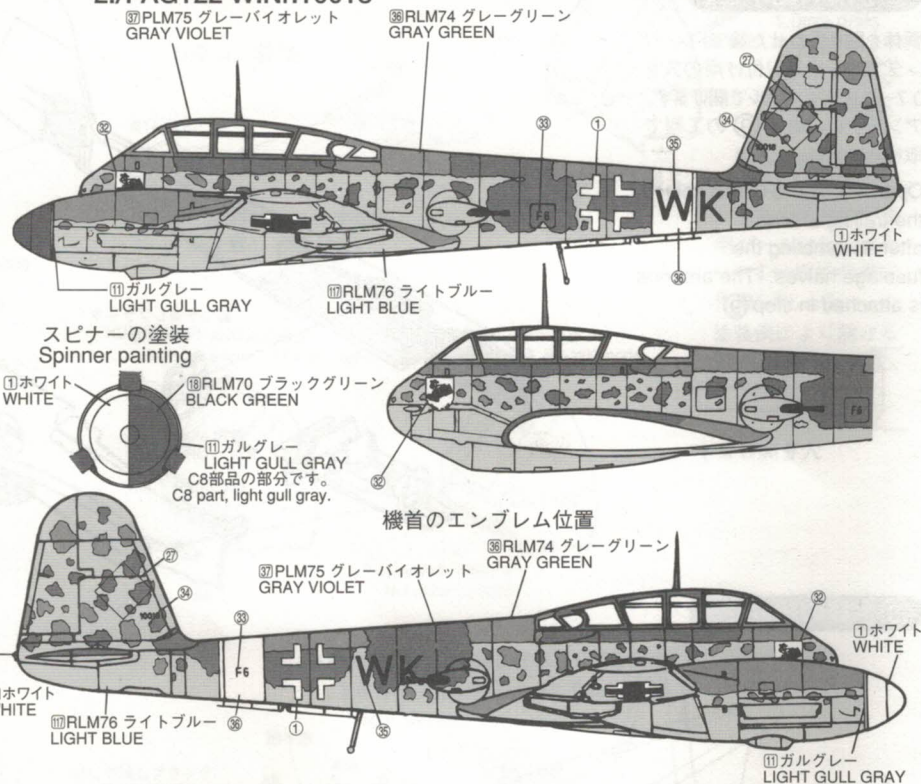


※ ㉗ mark not included in export kits.

2./FAG122 W.Nr.10018

このMe410A-3はアメリカに現存する機体で、(F6+QKと)同じグレー系迷彩だが、パターンが異なる。またスピナーの半分が塗り分けられ、機首にエンブレムをつけているが、一部の塗装パターンが不連続である。塗装の大部分は推測による所が多い。

This is the Me410 example preserved in the United States. The markings were of the same gray color, but in a different pattern. The spinners were also marked in two colors and an emblem was marked on the nose. Some of the camouflage pattern is discontinuous.



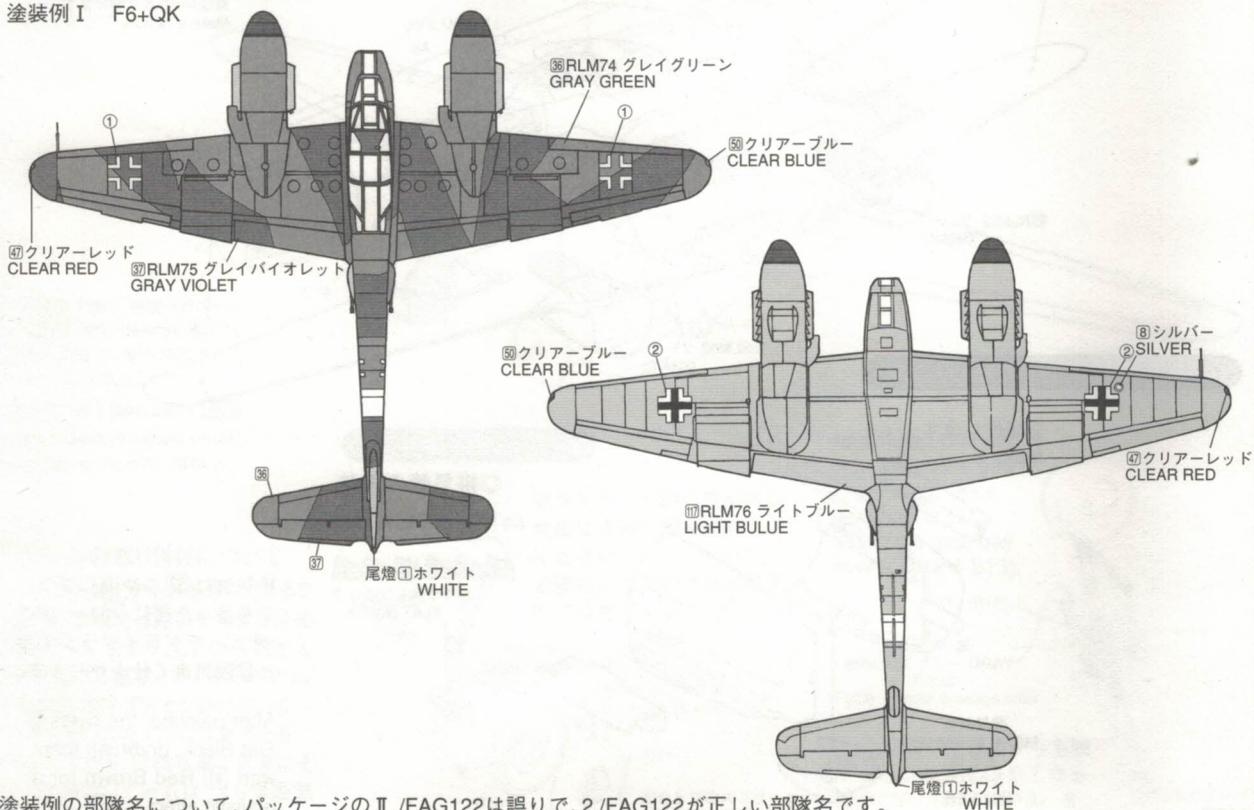
※ ⑦ mark not included in export kits.

機体上面、下面の塗装

主翼上面と下面の塗装とマーキングは塗装例Ⅰ、塗装例Ⅱとも共通です。

Common painting and marking of the upper and lower wing.

塗装例Ⅰ F6+QK



塗装例の部隊名について、パッケージのⅡ./FAG122は誤りで、2./FAG122が正しい部隊名です。

The painting example squadron name, Ⅱ./FAG122 is right, Ⅱ./FAG122 on the box is error.